

令和2年度

教職員による学校評価

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 教 務 部 | 8. 農 業 ク ラ ブ |
| 2. 図 書 視 聴 覚 部 | 9. 家 庭 ク ラ ブ |
| 3. 生 活 指 導 部 | 10. 事 務 部 |
| 4. 生 徒 会 ・ H R | 11. 1 学 年 会 |
| 5. 環 境 保 健 部 | 12. 2 学 年 会 |
| 6. 進 路 指 導 部 | 13. 3 学 年 会 |
| 7. 農 場 部 | |

係	教務部		努力目標及び評価				
目 標 力	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒		
	①基本的な生活習慣の確立【行事】	①時間、規則を守る指導の確立【行事】	①学習環境の整備【時間割】		①魅力ある教育課程の編成に努める【教育課程】		
実 践 事 項	①集会時のあいさつ指導	①行事を通して時間を守る指導	①朝学の充実		①新学習指導要領に向けた教育課程の検討を進める		
	1)始業・終業時における身なり、挨拶の呼びかけ	1)学校行事の計画について生徒会と連携して計画し、時間の管理ができるよう指導を行う。	1)各教科、学科で当番を組み、計画的に朝学を実施する。		1)研修への参加		
		②行事をとおして規則を守る指導	②追試科目取得向上の取り組み				
		1)生徒指導部と連携してルール、マナーの指導の計画を行う。	1)追試オリエンテーション実施に向けて担任の協力促す。 2)計7回の追試の実施				
評 価 基 準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である						
	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (/)
	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (/)
	学期末 目標到達度 (/)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (/)	学期末 目標到達度 (/)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (/)
今 学 期 の 反 省	<p>1 【行事】各部、学年と連携し、円滑に行事の実施ができた。コロナウイルスの影響で行事計画を大幅に変更した。職朝を原則2回（月・木）とした。</p> <p>2 【企画】入試業務を全職員の協力で円滑に行えた。運営委員会において事前に資料配布、検討することで、会議時間の短縮ができた。体験入学1回行った。</p> <p>3 【教育課程】選択科目の割り振りを行った。教科書販売を校内で行った。リモート課題の立ち上げを行った。</p> <p>4 【時間割】コロナで中止になった分の追試を行った。各学科、学年と連携して追認考査の申込及び実施に取り組むことができた。</p> <p>5 【公簿】諸公簿の記入、入力方法の説明会を行った。生徒の勤怠状況を必要に応じて担任に提供することができた。</p> <p>6 【渉外】コロナウイルスの影響でPTA総会が開催できなかった。</p> <p>7 【情報】準備室共有パソコンのセキュリティの不安があるのが心配である。。</p>						
要 望	<p>【時間割】次年度引継：3年生卒業判定と追試の持ち方検討、追試の持ち方および内規（追試関係）の検討</p> <p>【公簿】次年度引継ぎ：出席、成績入力の日を厳守してほしい。</p> <p>【渉外】次年度引継：生徒数減にともなう生徒派遣費の検討</p> <p>【情報】次年度引継：Teamsを削除している生徒の対応と新1年生のインストールの計画、Zoomで行事を開催する際、廊下でフォローする職員を今後も置いてほしい。新HPへの移行。</p>			協 議 事 項			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(年度)			今学期の反省	次年度への課題
			1	2	末		
1. 図書館運営	(1) 図書館利用・読書活動の推進	①図書や情報機器の利用推進を図る ②朝読書の時間の支援をする ③学期毎に図書返却週間を実施する	A	A	A	1. (1) ①教科・学科のシアター利用、iPad 利用など、多くの機器の利用があった。 ②毎月の読み物を準備し、年間を通して実施した。 ③まだ数名未返却がいる。3月中には返却できるよう、引き続きご協力をお願いします。 (2) ①コロナでできなかった行事もあるが、平和資料展、秋の読書週間、統一LHR(クイズ)を行うことができた。 ②3月号まで発行予定。 ③①コロナの影響もあり、今年度はあまり貸借を行っていない。 2. (1) ①現在、順調に蔵書点検中。蔵書・掲示物の数も増え、利用しやすい館内になっている。 (2) ②コピー機、ブラインドの修理をしたい。	①返却期間中に本を返却すること、確実な返却を徹底するための方法を検討したい。 ②朝読のあり方ややり方について、次年度は見直しをしていきたい。(ファイルの有無、係の負担軽減など) ③蔵書点検の人員予算確保をお願いしたい。今年度、前年度ともほぼ司書1人でやっている状態である。
	(2) 図書委員会活動の充実	①図書館行事の企画、運営を行う ②図書館だよりを発行する	A	A	A		
	(3) 地域の学校図書館、公共図書館及び専門図書館との連携	①他図書館と相互貸借や団体貸出、レファレンス等の連携を図る	B	B	B		
2. 図書館整備	(1) 図書館資料の整理・充実	①蔵書や刊行物等の整理・充実を図る	A	A	A	3. (1) ①体育館舞台上照明の修理が完了した。 ②各行事で放送部、生徒会が連携して運営できている。2学期も報告、連絡、相談を密に取り組む。	
	(2) 施設・設備・環境の整備と充実	①図書館利用案内の整備・充実を図る ②図書館内の機器整備・充実を図る	A	A	A		
3. 視聴覚機器の整備・充実	(1) 視聴覚機器の整備に努め、行事や授業等での利用を図る	①機器の定期点検及び整備をする ②視聴覚機材の使用方法研修会を必要に応じて実施する					
要望事項 ①コピー機の購入(故障のため。引き続き購入検討お願いします)。【事務部へ】 ②館内ブラインドの購入・修理(引き続き検討お願いします)。【事務部へ】 ③蔵書点検にあたっての人員予算確保をお願いしたい。【管理者へ】			協議事項				

学期の反省・評価表

係	生活指導部（1・2学期）	学期の反省・評価表			地域産業の発展に貢献できる生徒
	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	
実践計画	①身なり指導を強化する ②遅刻・欠課の指導を学年会と連携する	①校則についての周知 ②スマートフォンの利用マナーの厳守 ③飲酒・喫煙等の未然防止を強化する	①教員や貴重品等の自己管理を身につける。	①交通安全の意識を高め事故防止に努める。 ②自転車通学者への指導の徹底する。 ③免許取得届出書の徹底する。	①外部機関との連携
	①身なり指導を強化する 1)全職員で身なり指導を行う。 2)スカート、色つきリップに関しては、共通理解を持ち、全先生方で指導を行う。 3)染髪指導は保護者と確認しながら行う。 4)男子のツーブロックに関して掲示を行いながら奇抜な髪型に関しては改善指導を行う。	①校則についての周知 1)ルール・マナーの掲示 2)イエローカードの発行及び指導 3)校内放送などを使い、ルール・マナーの徹底を行う。	①教員や貴重品等の自己管理を身につける。 1)移動教室や更衣がある場合、自己管理を呼びかけ全職員で指導する。	①交通安全の徹底 1)交通安全講話等を実施し、安全規範の意識を高めさせる。 2)運転免許所持者への指導を強化し、週末の交通安全を全生徒に呼びかける。	①外部機関との連携 1)地域の方と連携を取り、問題行動等があればすぐに対応する。 2)警察との連携を図り、早期指導の徹底を図る。
	②遅刻・欠課の指導を学年会と連携する 1)毎月の遅刻、欠課の集計を出し、学年会と協力して改善を図っていく。 2)改善が見込めない生徒は段階を上げて指導していく。	②スマートフォンの利用マナーの厳守 1)利用時間の徹底。 2)違反者への指導の徹底（預かり及び反省文の徹底）。		②自転車通学者への指導の徹底 1)学期毎の車輛チェック（自転車登録）を行う。	
		③飲酒・喫煙等の未然防止を強化する 1)薬物や禁煙講話等を設け、タバコや飲酒の害について考える。養護教諭との連携を図る。		③免許取得届出書の徹底 1)免許取得確認を各学期で行う。	
実践事項					
評価基準（目標到達度）					
5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である					
	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (5)	1学期 目標到達度 (3)	1学期 目標到達度 (5)
	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (3)	2学期 目標到達度 (5)	2学期 目標到達度 (3)	2学期 目標到達度 (5)
	学年末 目標到達度 (4)	学年末 目標到達度 (4)	学年末 目標到達度 (5)	学年末 目標到達度 (3)	学年末 目標到達度 (5)
今学期の反省	<p>・コロナ禍の中、授業日数は減ったものの指導生は例年と同じぐらいの人数の指導件数であった。 ・同じ生徒が飲酒・喫煙の指導に上がるケースが増えてきている。 ・1年生で指導に上がる生徒が少なかった。 ・スマートフォンに関する指導は前年より減少している（R1：196→R2：96）が隠れて使っている生徒が増えている。Instagram、Twitter、TikTokなどのSNSに授業中の画像をアップしている事もある。SNSの危険性に関する話なども生徒にしなくてはならない。 ・交通事故1件、2人乗り1件、車両通学1件、バイク通学2件の指導があった。交通安全の意識を高め事故防止に努めていきたい。 ・卒業式に暴走行為があった。 ・男子のツーブロックを今年度から認めたが、サイドの長さがまちまちなので基準を設けたい。女子の身なり指導に関して、粘り強く指導しているが改善しない生徒や指導に応じない生徒に関しての対応を考えないといけない。 ・遅刻指導も減ってきているが、遅刻を何度も繰り返す生徒もまだいるので粘り強い指導が必要である。</p>				
要望	<p>・職員の協力もあり、1年を終えることができました。ご協力ありがとうございました。</p>			協議事項	

係	生徒会・HR					努力目標及び評価				
	努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒				
①基本的な生活習慣の確立		①安全指導の徹底 ②コロナウイルス感染症防止対策周知・徹底	①LHRの計画的運用に努める ②生徒会執行部とHR役員の連携	①平和学習の計画的運用に努める	①進路指導・ボランティア活動の推進					
実践事項	①基本的な生活習慣の確立	①安全指導の徹底	①LHRの計画的運用に努める	①平和学習の計画的運用に努める	①進路指導・ボランティア活動の推進					
	1)身なりを整え、自分からあいさつをすることができる 2)	1)けがや事故、問題行動等の周知と呼びかけ	1)計画的に運用し、各HRとの連携を図る	1)計画的に運用し、生徒会執行部が各HR,学科との連携ができる	1)進路室の活用 2)地域行事、ボランティア活動等への積極的参加					
		②コロナウイルス感染症防止対策周知	②生徒会執行部とHR役員の連携		②					
	1) 2)	1)コロナウイルス感染症防止対策周知・徹底 2)消毒液の配布とマスク着用徹底の呼びかけ	1)話し合いの場を設定し、行事の際は運営に協力してもらう 2)		1) 2)					
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である									
	1学期	目標到達度 (4)	1学期	目標到達度 (4)	1学期	目標到達度 (4)	1学期	目標到達度 (-)	1学期	目標到達度 (4)
	2学期	目標到達度 (4)	2学期	目標到達度 (4)	2学期	目標到達度 (4)	2学期	目標到達度 (-)	2学期	目標到達度 (4)
	学期末	目標到達度 (4)	学期末	目標到達度 (4)	学期末	目標到達度 (4)	学期末	目標到達度 (-)	学期末	目標到達度 (4)
今学期の反省	【生徒会】1、生徒会行事（予餞会）の検討：コロナウイルス感染拡大防止のためスポーツ競技から全校生徒職員の協力の下、ビデオを流すスタイルで予餞会を実施することができた。 2、卒業式に向け3年生よりアンケートをとり、『夢』の写真アート文字を作りあげ卒業式に掲示することができた。また、HR系の協力の下卒業生、保護者へスライドショー写真、離任された職員よりビデオメッセージを放映することができた。 3、生徒会予算の執行呼びかけ、回収を行った。執行書の期限内提出期日の検討が必要。提出書類の内容について再確認する必要あり。 【HR】1、コロナ禍の中、卒業アルバム製作において、3学年、生徒、学科の協力が得られ、製本・配布することができた。 2、部顧問の協力の下、部・同好会の生徒による年末大掃除を実施することができた。 3、考査一週間前の呼びかけ、入試期間中の活動についての確認ができなかった。 4、仕事内容の精選が必要。									
	要望							協議事項		

係	環境保健部（学年末）		努力目標及び評価		
	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒
努力目標	①人間関係の基礎である「あいさつ」の大切さを伝え、身につけさせる。	①朝学でルールやマナーについて取組む ②学習環境の整備・充実 ③健康相談活動の充実を図り、問題行動の背景にある課題解決に向けたアプローチ	①自己を確立し、生徒自らの力で問題解決を図れるようにする ②誰もが分かりやすい学習環境のユニバーサルデザイン化	①学期毎にいじめアンケート実施 ②健康相談活動の実施 ③健康教育を推進し、自他を大切にする心を育て、自己肯定感を高める（性に関する学習会、性・エイズに関する学習会、AED講習会等の実施）	①公共物の取り扱い、環境保全への意識向上 ②他者を認め、価値観の多様性(様々な視点があることなど)を理解する。
	①人間関係の基礎である「あいさつ」の大切さを伝え、身につけさせる。 1)入室の際「あいさつ」をして入室させる。 2)面談時「あいさつ」の大切さを話している。 3)朝の検温時に「あいさつ」を促す指導をした。	①朝学でルールやマナーについて取り上げる。 1)朝学でコロナ感染症対策について学習 2)せきエチケットの意識付け 3)いじめアンケート時に人権尊重も再確認	①自己を確立し、生徒自らの力で問題解決を図れるようにする。 1)クリーンアップ週間の実施し、整理整頓や美化意識を高揚する事ができた。 2)人間関係のもつれなどの相談を受け、話し合いを実施し、生徒に課題解決の方法を示して支援した。	①学期毎にいじめアンケート実施 1)アンケートの実施と対処（=面談）と報告を行った 2)学科、学年情報交換会で共通理解を行った 3)外部機関と情報共有を図った	①公共物の取り扱い、環境保全への意識向上。 1)公共物のゴミ集積所内を清潔かつ分別場所を明瞭にすることができた。 2)日々の清掃活動や学年末大掃除（ワックスがけ）を通し、無償活動の意識を育成することができた。 3)校内への不法投棄対応で外部機関とも連携し、解決することができた。
実践事項		②学習環境の整備・充実。	②誰もが分かりやすい学習環境のユニバーサルデザイン化。	②健康相談活動の実施。	②他者を認め、価値観の多様性(様々な視点があることなど)を理解する。
		1) 掲示物を工夫し、分かりやすいゴミ分別表の作成と美化だより（18号）発行 2) 学期毎のクリーンアップ週間を実施することができた。 3) 特別教育支援員の支援により対象生徒やその他の生徒の学習環境がよくなった。 4) 支援対象者へのテスト対策勉強会を実施した。	1) 掲示物を工夫し、分かりやすいゴミ分別表の作成をすることができた。 2) 清掃用具棚の整理整頓を見える化（写真）し、意識付けをすることができた。	1) 個別で実施（病院受診に繋げたケース有） 2) SCや支援員を活用しての面談実施し担任や関係部署と連携できた。	1) 特別支援教育に関わる研修を実施できた。 2) 障がい者支援事業所、ハローワーク特別窓口と連携し生徒の進路支援を行った。
		③健康相談活動の充実を図り、問題行動の背景にある課題解決に向けたアプローチ。		③健康教育を推進し、自他を大切にする心を育て、自己肯定感を高める。（性に関する学習会、性・エイズに関する学習会、AED講習会等の実施）	
		1) 生徒指導部と連携し、生徒指導を受けている生徒にSCとの面談を実施 2) 禁煙外来の案内 3) 保健だよりを発行できた。 4) 心の安全チェックを実施し担任面談資料として提供できた。		1) コロナ感染症予防に関して学習指導と感染者に対する差別等の禁止を啓発	
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である				
	1学期 目標到達度 (--)	1学期 目標到達度 (--)	1学期 目標到達度 (--)	1学期 目標到達度 (--)	1学期 目標到達度 (--)
	2学期 目標到達度 (1)	2学期 目標到達度 (3)	2学期 目標到達度 (3)	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (3)
	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (5)
期待	①職員、用務員が連携し草刈りやコロナ感染防止消毒作業などを行うことができた。また、クリーンアップ週間や年度末大掃除を通して、環境美化に対する生徒の意識を高揚させることができた。②コロナ感染防止の関係から計画していた取り組みができなかった。③具体的に個人への合理的配慮ができなかった。				
要望	①HR担任で抱え込まないように相談してほしい。クラス内での人間関係のもつれなどは「その時、その場で、素早い対応」を全職員で意識しながら対応していただきたいと思います。②次年度も環境保健部へのご協力をお願いします。			協議事項 ①【管理者へ】次年度検温をどのような形で実施するのが検討してほしい。	

係	進路指導部	努力目標及び評価			
努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒
	①進路室入退室時のあいさつ励行 ②進路活動につながるあいさつの習得	①面接を受けられる身なりの実践 ②正しい言葉遣いを身につける	①進路情報の収集整理能力の習得 ②情報交換、相互支援による進路実現	①仕事で支え合う社会の仕組みを理解する ②自分の生き方を大切にする心を養う	①地域産業に関する情報の収集 ②社会人として求められる素養の獲得
実践事項	①進路室入退室時のあいさつ励行	①面接を受けられる身なりの実践	①進路情報の収集整理能力の習得	①仕事で支え合う社会の仕組みを理解する	①地域産業に関する情報の収集
	1)「進路室の利用」について各集会で周知する 2)職員からの声かけ実施	1)生活指導部と連携し学年集会等で周知する 2)外部講師によるマナー講座	1)進路ガイダンス、合同説明会等への参加 2)北農キャリアパスファイルの活用	1)「しごとミュージアム」への参加 2)「進路の手引き」の活用	1)企業説明会、職場体験等への参加 2)進路室資料、ネット検索等による情報収集
	②進路活動につながるあいさつの習得	②正しい言葉遣いを身につける	②情報交換、相互支援による進路実現	②自分の生き方を大切にする心を養う	②社会人として求められる素養の獲得
	1)面接対策を通したあいさつ指導 2)外部講師によるマナー講座	1)進路室利用時の言葉遣い指導 2)面接対策を通した言葉遣い指導	1)自主学習クラブの推進 2)「進路だより」の活用	1)適性診断の活用（自己理解） 2)「先輩からのメッセージ」の実施と活用	1)外部講師によるマナー講座 2)社会人講話 3)就職内定者セミナー
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である				
	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()
	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()
	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (4)
今学期の反省	<p>①「進路室の利用」について学年集会等で周知することができた。面接対策を通した3年生へのあいさつ指導はできたが、1、2年生への指導は不十分だった。</p> <p>②身なりについては指導方法を再考する必要がある（面接時だけ整えればよいと考える生徒が多い）言葉遣いについても同様のことが言える。</p> <p>③コロナの影響でガイダンス、説明会等の大部分が中止又はオンラインでの実施となった。「自主学習クラブ」「北農キャリアパスファイル」を開始することができた。「進路だより」17号を発行することができた。</p> <p>進路に関する情報は県教育センターが配布している生徒用メールアドレスを使用するよう生徒に周知する。</p> <p>④「適性診断」を実施できた。（活用方法、日程について再検討が必要）「先輩からのメッセージ」録画することができた。（新年度4月28日のLHRで視聴したい）</p> <p>⑤就職内定者セミナー、社会人講話（2年生対象）を実施することができた。進路室資料やネットでの情報収集が中心となった。</p> <p>※コロナ対策でパーティーションを完備することができた。（事務に感謝）</p>				
要望	①リモート面接、説明会等に対応できる環境の設定（パソコンの更新等）			協議事項	①生徒の顔写真データを進路指導室に保管する。

令和2年度 (部署：農場部)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(年度)			今学期の反省	次年度への課題
			1	2	末		
1. 農場環境の整備・充実	(1) 施設設備の充実 (2) 学校農場の整備充実 (3) 校内及び寄合原の美化緑化 (4) 薬品を含めた廃棄物処理	・施設設備の点検と更新に向けた予算要求を図る ・農場及び周辺環境の整備。 ・装飾計画に沿った定期的な校内装飾。 ・計画的な薬品及び管理備品の確認と処分。	B A B C	A A A C	A A A B	○事務部・保健部の協力の下、産振備品の整備・コロナ対策や施設修繕等がスムーズにできている。 ○事務部・農場部各学科協力の下、環境整備が進んだ。花のゆりかご事業の有効活用できた。 ○環境美化・芝生の管理等は計画的であった。校内装飾については3学科連携続ける。 ○3学期は食品科学科の薬品廃棄が進んだ。残農薬の廃棄処理を次年度進める。	○施設設備の更新・廃棄の準備を進めながら県へ要求する。温室設備更新の準備を進める。 ○入学式に向けて引き続き取り組む。 ○次年度も花のゆりかご事業をとおして、計画的に装飾・美化に努める。中学校への配布も2学期から計画的に行いたい ○予算を検討して、今後計画する。 <u>農薬の廃棄は薬品の廃棄業者と同一JAでは空容器的回収しかしていない。</u>
2. 農場予算の計画的執行。歳出・歳入の均衡を図る。	(1) 学期毎の計画的執行 (2) 予算計画と歳出・歳入予定の達成 (3) 予算削減に伴う予算計画	・学期毎の執行状況を把握する。 ・各学科で計画的に執行する。 ・執行状況・物品の値上がり等を検討して計画する	B B B	B B B	B B B	○各学科計画的な執行に努めている。 ○次年度は共通費に余裕がない。 農業機械類の取り扱いについて共通理解必要 ○家畜伝染病対策・リモート授業対策の予算を検討する。	○必要消耗品の計画的な物品購入に努める。 ○事務部と今後も協力する。(共通費の使途) ○燃料費の余剰経費分配、賃借料の有効活用(次年度 寄合原のホイルローダ借用予定)
3. 農場部関係行事の推進	(1) 農教研の運営 (2) 農業クラブ大会に向けた取り組み (3) 生産物即売会に向けた取り組み (4) 各種行事への積極的取り組み 産業教育フェア・やんばる産業花と食のフェスタ 等 (4) PTA講座への協力と推進 (5) 北農ゆんたく市場の計画実施 (6) 体験入学の内容充実 (7) 地域連携事業等の継続的取り組み	・各学科で計画的に推進し、行事成功に努める。 ・全学科共通理解を元に積極的に取り組む。 ・渉外係と連携し、講座の充実を努める。 ・各学科計画的な運営・生産物出荷に努める。 ・中学1・2年生対象の体験入学も検討する。 ・普及センター、県立農業大学等との連携強化。 ・農教研、夏季研修の推進・充実。	B A B B B B	A A A A A A	A A B B B A	○係を中心に取り組んでいる。(養蜂講習会・園芸視察・総会の終了)。 ○農業クラブを中心に工夫を凝らしながら実施できた。 ○3学期のゆんたく市場は中止。 12月生産物即売会、(来場者 620名) 10月ゆんたく市場開催。(来場者 153名) ○8月体験入学 中止。10月 分散開催できた(1回目92名 2回目64名 計156名) ○近隣中学校の移動販売ができた(1学期2校) 2学期：東江中・今帰仁中・大宮中。3学期は物理的に厳しいので1学期から実施できるようにする。	○専門部の活動を各学校と連携して取り組む。 ○各学科でのプロジェクト学習の継続と校内大会の準備を進めたい。【5月】 ○今年度の反省を次年度に引き継ぐ(別紙) ○渉外係と連携して、学科専門部を充実させる ○体験入学・生徒募集活動について、今後も検討・準備をしていく。 ○次年度も近隣中学校で移動・訪問販売する為 <u>学科間連携していく。(6月から実施)</u> ○学校HP変更に向けて準備を進める。(熱帯・林業・農業クラブは進行中)
4. その他	(1) 職員研修の充実 (2) 生徒募集活動の研究 (3) 学科重点事業の推進 (4) 進路指導の充実	・教育課程、プロジェクト学習、先端技術の習得等各学科の課題や個人のスキルアップに繋げる研修の実施 ・生徒の実態把握と生徒募集活動の充実。 校内で連携・問題の検討をし、方法を実施する。 ・各科と連携し、事業実現に向けて調整を図る。 ・インターンシップ先職場開拓の推進。 ・担任、進路指導部と連携し、早期の進路決定に繋げる。	B B B B	C B B B	B B B B	○農業教育研究会でリモート授業や教材の共有・新学習指導要領に関する研修ができた。 今後予算が必要か検討する。 ○熱帯・林業の学校ホームページを使った情報発信が多くあり刺激を受けている。 ○コロナ禍での進路指導は学校全体で取り組まなければならないので、情報共有しながら継続して取り組みたい。 ○各学科で進路決定者・資格合格者の掲示進んでいる(後援会からの支援金申請を進める)	○他の農林高校の情報共有しながら教材作成やスキルアップに努めていく。 ○コロナ禍でできる生徒募集を検討。 *定期的なHP更新 *訪問販売 *プロジェクト活動・ボランティア活動 *在校生が充実する取り組みなど ○コロナ禍の進路指導を進路部・同窓会など農場部関係企業と連携可能か検討したい ○インターンシップ実施は各学校と地域の実情に任されている。次年度学校としての方針を <u>確認する必要がある。</u>

係	農業クラブ		努力目標及び評価		
努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒
	①挨拶訓練の実施	①規範意識の高揚	①農業クラブ大会への指導強化 ②校内農業クラブ大会の充実	①環境調査の実施	①農業クラブ三大目標の育成
実践事項	①挨拶訓練の実施	①規範意識の高揚	①農業クラブ大会への指導強化	①環境調査の実施	①農業クラブ三大目標の育成
	1)全体集会での挨拶訓練は実施出来なかった。 2)実習前の規律・挨拶訓練は合う学科で実施している。	1)校訓・農魂・農業クラブ三大目標のぼり旗を設置し、模範意識の高揚に努めた。	1)今年度は、エントリー大会開催となったが、最大限可能な範囲で指導に努めた。	1)タンポポ調査を通して環境問題に対する興味・関心を高める取り組み。	1)プロジェクト・意見発表など、農クの活動を通して地域と連携し、科学性・社会性・指導性の育成に努めた。
	②	②	②校内農業クラブ大会の充実		②
	1)	1) 2)	1)第2回農業クラブ大会は、動画開催となったが、生徒同士で協力し、自発的な活動が見られた。		1) 2)
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である				
	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (3)	1学期 目標到達度 (5)	1学期 目標到達度 (/)	1学期 目標到達度 (4)
	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (3)	2学期 目標到達度 (5)	2学期 目標到達度 (/)	2学期 目標到達度 (4)
	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (/)	学期末 目標到達度 (4)
今学期の反省	<p>第2回農業クラブ大会の運営については、コロナの感染症対策もあり、動画開催となったが、生徒の自発的な活動で無事に終了できた。</p> <p>県連大会がエントリー開催となったが、大会開催に向けて取り組むことができた。</p> <p>挨拶訓練については、実習前の訓練だけではなく、今後の主体的な活躍する場を設けたい。</p> <p>農業クラブ員を中心に学科の協力を得て各学科のPR動画を作成した。</p> <p>第2回校内農業クラブ大会において、情報を共有し、定時制課程からエントリーがあった。</p> <p>令和3年度農業クラブ大会 県連大会 事務局：中農（うるま市）6月29・30・31日（火水木）九州大会：佐賀県会 8月4・5・6日（水木金）全国大会：兵庫県大会 10月26・27・28日（火水木）</p>				
要望				協議事項	

令和2年度 学年末反省（家庭クラブ）

具体的目標	評価			今年度の反省	次年度の課題
	1	2	3		
1. 家庭クラブ行事への積極的参加					
①家庭クラブ総会・新入生入会式	B	-	-	①今年度はリモートで行った。	①年度初めの大きな行事となるので、新3年生の役員を中心に次年度は計画を早めにしていきたい。
②全国家庭クラブ研究発表大会	-	-	-	②全国家庭クラブ研究発表大会（富山県）、県指導者養成講座は今年度中止となった。	②次年度は新家庭クラブ会長の下、全国活動内容も参考に活動させていきたい。
③沖縄県家庭クラブ指導者養成講座	-	-	-	③夏休み期間中、2-4 金城野乃花、蔵根花音が参加予定だったが、今年度中止となった。	③次年度は、地域の方との交流も計画していきたい。
④校内家庭クラブ活動	A	A	A	④たてつな会や歳末助け合い募金活動、進路ガイダンス、そうきん作りなど計画的に行うことができた。また、今年度新たな取り組みとして、コロナ対策の手作りマスクを全受験生に配ることが出来た。	④次年度も講習会等の新たな企画運営を行い、生徒主体の運営に努める。
⑤沖縄県家庭クラブ研究発表大会	-	B	-	⑤県家庭クラブ研究発表大会は今年度人数を制限して行われた。	⑤次年度の活動を見据えた取り組みを行っていきたい。
⑥校内指導者養成講座	-	-	-	⑥「家庭クラブ活動の活性化」をテーマに、講座を実施する予定だったが、今年度は中止となった。	⑥次年度はクラブ員と内容を検討しながらよりよい指導者養成講座を計画する。
⑦家庭クラブ引継式	-	-	A	⑦役員が中心となり、企画運営までスムーズに実施することができ、役員のつながりが深まった。	⑦家庭クラブ活動が活性化を促せるよう、今後も引継式を実施していきたい。
2. 家庭クラブ便りの発行	B	B	B	①家庭クラブ便りの発行数をもっと増やしていきたい。次年度は計画的に発行できるように指導していきたい。	①次年度は2年生を中心に定期的に発行できるように促していきたい。
3. 家庭クラブ役員会の定期的開催	B	B	B	①今年度役員会を定期的に開催することができなかった。	①計画的に役員を中心に、自ら考え企画・活動を展開できるよう、今後も助言を行っていきたい。

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(年度)			今学期の反省・成果	次学期への課題
			1	2	末		
1. 学校運営	農林高校としての特色ある教育環境の充実と施設・設備の安全管理を行うとともに円滑な学校運営を図る。	①教育活動の充実へ向けて、各種予算の有効的な予算運用管理に努める。 ②各部、各委員会、各係、全日・定時との連携を密にし、円滑な学校運営を図る。 ③屋内外の整理整頓を周知し、安全管理に努める。	B	B	A	厳しい事務体制の中、事務分掌の編成を行いお互いサポートし合う協働体制を構築。 安全管理: 監視カメラ5台設置、給油設備廃業、動物台帳の管理改善、危険物除去、薬品廃液処分。 ありがとうございました。	円滑で効果的な業務を運営するため協働体制を維持する。長年の課題解決へ向けて引き続き計画を立て、より安心で安全な学校づくりに取り組む。 今後ともご協力宜しくお願いします。
2. 歳出・施設	予算の計画的・効果的な執行を図り、施設・設備等の教育環境の充実に努める。	①光熱水費の節減を図り、教育環境充実のための予算へ割り当てる。 ②安全を優先した教育環境の整備・修繕に努める。 ③各科、各部との連携を図り、情報収集に努める。	B	B	A	最終予算:定時農場ライト設置、普通教室トイレステンレス鏡取替、裏門・南門外灯設置。 コロナ対策及び学校再開予算により消毒用消耗品、全 LHR →電子黒板設置完了、課題研究室テーブル整備が出来た。	一般管理費・農場予算と本校歳出業務は多岐にわたるため、各学科・各部との連携をより強化し、効率化を図る必要がある。
3. 歳入・備品	生産物、施設使用、証明書、教職員住宅、自販機、授業料、入学料等の安全処理に努める。	①就学支援金及び給付金の申請漏れのないように周知の徹底と適正な処理に努める。 ②歳入書類は、日々の記録を行う。 ③効果的な執行により、教育環境の充実に努めるとともに計画的な予算要求を行う。	B	B	A	就学支援金:第1期(1年生)130名認定済 第2期(全学年)394名認定済 給付金;143名 認定済 備品整備:理科3件、一般8件、産振11件 学校活性化へ向けてアナウンスマシン整備	授業料・校納金未納者に対しては、担任と連携して、随時保護者への連絡、給付金の申請案内等を行い、生徒への経済的な支援を継続する。 「スマート農業」(デジタル化)の実現へ、各学科のご協力宜しくお願いします。
4. 給与・人事・福利厚生	条例・規則等をもとに遅滞なく業務をすすめ適正な処理に努める。	①給与・手当の適正処理へ向けて事後確認を行う。 ②適正な事務処理を心がけ、事務長をはじめ職員と連携・調整する。 ③職員への呼びかけを定期的に行い、迅速な事務処理に努める。	B	C	B	職員への定期的な呼びかけによりスムーズに業務遂行が出来た。 事後確認を行い、認定業務の適正な処理が出来た。 ご協力ありがとうございました。	引き続き、全職員への周知徹底と該当職員への対応を迅速に行い、適正な事務処理に努める。
5. 旅費・庶務・サービス、校納金	旅費の適正な執行及び公文書の迅速な收受・発送、サービス関係書類の整理に努める。	①押印もれなどは、随時呼びかける。 ②教頭と連携し、職員のサービス管理に努める。 ③校納金未納者へ「支払い延納願」「奨学のための給付金」などを活用し計画的な納入を促す。	B	B	B	旅費の支払いについて、適正に処理出来た。 校納金未納者は、各担任のご協力により3年生が完納出来ました。 ご協力ありがとうございました。	旅行命令簿提出の遅滞をなくし、早期支払い出来るように周知を徹底する。 担任・歳入担当と連携し、給付金活用を含めた校納金未納対策を図っていく。
6. 定時事務	各種業務ごとに関係者、全日事務部と情報共有・日程周知等を徹底し、円滑な業務遂行に努める。	①給与手当認定・人事関係・毎月処理業務について適正かつ迅速な処理を行う。 ②新型コロナウイルス対策予算を全日事務と連携して有効に活用する。 ③現金取り扱いの未然防止のため、事務長と「報告・連絡・相談」の徹底に努める。	B	B	B	休暇に入る職員、それに伴う補充申請等円滑に遂行することができた。 日々の学校生活、給食時における感染症対策にむけて職員で話し合い、効率的かつ効果的な予算執行ができた。	引き続き支援金関係等の周知・円滑な申請手続き等を図っていきたい。 各種業務に関して、全日事務と連携して引き続き適正かつ円滑な処理に努める。
7. 用務	校内美化に努める。 来訪者の対応と接待に努める。 校内の安全管理に努める。	①美化係と連携し校内の美化に努める。 ②来訪者に丁寧な対応を心がける。 ③校内の安全管理へ向けて事務部と情報を共有し、危険箇所、修繕箇所への対応を行う。	B	A	A	コロナ対策として、事務室前の定期的な消毒及び来客者への検温、資料預かりなど工夫をしながら対応が出来た。 事務部や学科の先生方と情報を共有し校内の危険箇所、修繕箇所への対応ができた。	引き続き関係職員と連携し校内美化及び安全管理に努める。 各種修繕依頼については、施設修繕依頼簿及び北農ネットの活用をお願いします。
要望事項	(1) 各種実績簿の提出及びサービス等も遅滞なく処理をお願いします。 (2) 計画的な予算執行及び光熱水費への削減へご協力宜しくお願いします。 (3) 今後とも、事務部との連携を宜しくお願いします。		協議事項				

係	1学年（学期末）		努力目標及び評価			
	努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒
①基本的な生活習慣の確立 ②始業・終業時における身なり、挨拶の徹底		①交通安全の徹底 ②校則についての周知	①学習活動の充実 ②資格取得への取り組み強化	①栽培・飼育を通しての責任感育成。	①進路指導の推進 ②プロジェクト学習の実施	
実践事項	①基本的な生活習慣の確立	①交通安全の徹底	①学習活動の充実	①栽培・飼育を通しての責任感育成	①地域農業等見学の実施	
	1) 始業前に身なりチェック実施 2) 家庭への連絡確認の実施	1) 自転車登録及び交通安全の周知	1) 単位取得についての説明	1) 「農業と環境」を通して心得を指導	1)	
	②始業・終業時における挨拶、身なり	②校則についての周知	②資格取得への取り組み強化		②プロジェクト学習の実施	
	1) 実習前のあいさつ訓練の実施 2) 始業・就業時の確認	1) 利用マナーの掲示 2) イエローカードの発行及び指導	1) 教室プリント掲示、HR等での呼びかけ 2) 学科との連携		1) 実験・実習の充実 2) 地域行事・各競技会等への積極的参加	
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である					
	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (5)	1学期 目標到達度 (5)	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)	
	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (5)	2学期 目標到達度 (5)	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (4)	
	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	
今学期の反省	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前のあいさつ訓練を実施できた。 ・勤怠状況は思うほど低下することがなかった。 ・資格取得にチャレンジする生徒が多かった。 ・少ない行事の中で即売会の実施により少しでも農業高校のイベントを体感でき良かった。 ・チームスの活用が始まった。 ・身なりを整えて登校できない生徒がいる。 					
要望				協議事項		

係	2学年(学年末)	努力目標及び評価			
努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命(いのち)に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒
	①基本的な生活習慣の確立 ②挨拶指導	①校則をしっかり守る ②交通安全の徹底	①学習活動の充実を図る ②資格取得への取り組み強化	①栽培・飼育を通しての責任感の育成	①進路指導の推進 ②プロジェクト学習の推進
実践事項	①基本的な生活習慣の確立	①校則をしっかり守る	①学習活動の充実を図る	①栽培・飼育を通しての責任感の育成	①進路指導の推進
	1) 勤怠指導の充実を図る。	1) 服装容儀指導を徹底する。 2) 携帯電話のマナー指導を徹底する。	1) 基本的学習態度を身に付けさせる。	1) 実験・実習を通して事故の役割を理解し、自分の考えを伝え、他者と協力して物事に取り組むことが出来る。	1) 進路部と連携志、進路に対する意識付けを行う。
	②挨拶指導	②交通安全の徹底	②資格取得への取り組み強化		②プロジェクト学習の推進
	1) 授業の開始時、終了時の挨拶の徹底を図る。	1) 生徒指導部と連携し、交通安全の呼びかけを行う。 2) 運転免許取得希望者は事前、事後に必ず届出を提出させ、交通安全の注意喚起を行う。	1) 教室プリント掲示、HR等での呼びかけ 2) 学科との連携		1) インターンシップや生産物即売会を通して、人や地域に支えられていることを実感し、感謝することが出来る。
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である				
	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)	1学期 目標到達度 (4)
	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (4)	2学期 目標到達度 (4)
	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (5)	学期末 目標到達度 (5)
今学期の反省	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して、粘り強い生徒指導(身なりやイエロー、携帯等)、ありがとうございました。 ・全体集会を各クラスでZoom等を使ってやったが、生徒の把握もしやすく、話もしっかりと聞けていました。新しい方法だったが、とても良い方法でした。 ・朝の遅刻で、明確な基準を各クラスで統一出来ませんでした。 ・学年集会等を通して、学年間の横のつながりを強くしていきたい。 				
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職朝連絡の内容の精選をお願いします。 ・全体集会の持ち方の工夫をよろしくをお願いします。 ・身なり指導を、担副以外の先生方でチェックする方法も、チェックしやすいと思います。 			協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の入力方法に関して。 	

係	3学年（学期末）		努力目標及び評価			
努力目標	礼儀正しくあいさつができる生徒	ルールやマナーを守ることができる生徒	主体的に学び、他者と協力して行動できる生徒	生命（いのち）に対する慈しみの心のある生徒	地域産業の発展に貢献できる生徒	
	①始業・終業時におけるあいさつの徹底を図る。	①身なりと基本的な生活習慣の確立。	①主体的に授業に取り組む姿勢を促す。	①安全教育の推進。	①進路指導の充実・強化。	
実践事項	①始業時におけるあいさつの徹底を図る。	①勤怠状況を良くし、基本的な生活習慣の確立を図る。	①学習環境を整え、学習に取り組む態度を身につける。	①生命尊重の教育の推進。	①進路の早期決定を促す。	
	1) 始業前に身なりを整える。 2) あいさつポスターの掲示。	1) 家庭との連絡・連携を密にする。	1) 学習環境を整え、授業へ主体的に参加する。	1) 免許取得・アルバイトにあたって校則を厳守し、交通安全に対する意識の高揚を図る。	1) 進路指導部・学科保護者と連携を図る。	
		②勤怠状況の悪い生徒について生徒指導部と連携を強化する。	②全員卒業に向けて学年全体で雰囲気作りを行う。		②進路実現に意欲的に取り組む姿勢の育成。	
		1) 利用マナーの掲示。 2) イエローカードの発行及び指導。	1) 単位保留科目の取得に向けて指導の強化を図る。		1) 進路・就職ガイダンスへの積極的参加。	
評価基準	5 全体の9割以上できている 4 全体の7割以上できている 3 全体の5割以上できている 2 全体の3割以上できている 1 全体の3割以下である					
	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	1学期 目標到達度 ()	
	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	2学期 目標到達度 ()	
	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (3)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	学期末 目標到達度 (4)	
今学期の反省	・新型コロナの影響で進路ガイダンスや企業説明会等がキャンセルになり、進路の取り組むや雰囲気作りが遅くなった。					
要望	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生表彰者の受賞基準の一覧表を作って、明確にすると選考しやすく、重複が等がなくなり良いと思う。 電話外線の取り次ぎは5時15分頃までにして、緊急時以外、5時15分以降の取り次ぎは定時を中心に行っていく方が良い。他校では5時以降は留守電話等になっている所も多数あります。（働き方改革） 			協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 卒業式に向けた身なりは前日・当日まで取り組むのではなく出校日あたりで参加できる生徒を確定しても良いのではないかな。 校納金の納金は各学年で確実に支払いが終えられるように取り組めないでしょうか。 		